

別紙 2

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和 2 年 2 月 28 日

設置・運営主体	越谷市		
設置主体	越谷市		
経営主体	越谷市		
事業所名 (施設名)	越谷市立大袋北保育所	種別	保育所
所在地	〒 343-0032 埼玉県越谷市袋山475-3		
電 話	048-974-8591		
FAX	048-974-8637		
Email	obukurokitahoiku@city.koshigaya.lg.jp		
URL	http://hoikushisetsu.koshigaya-kosodate.net/docs/2013022800563/		
施設長氏名	永原由美子		
調査対応担当者	永原由美子 (所属、職名：大袋北保育所・所長)		
利用定員	100 名	開設年	昭和 52 年 4 月 1 日
理念・基本方針	<p>【越谷市立保育所 保育理念】 「すべての子どもを健やかで心豊かに育つよう支えます」</p> <p>【保育方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの人権や主体性を尊重します。 ・すべての家庭の子育てと就労を支えます。 ・地域の子育てを支援し異世代交流を深めます。 <p>【大袋北保育所 目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気に遊ぶ子 ・自分で考えて行動する子 ・思いやりのある子 		
開所時間 (通所施設のみ)	月曜日～土曜日 午前7時から午後7時		

【利用者の状況に関する事項】

○成人施設の場合（老人福祉サービスを除く）

18歳未満	18～20歳未満	20～25歳未満	25～30歳未満	30～35歳未満	35～40歳未満
名	名	名	名	名	名
40～45歳未満	45～50歳未満	50～55歳未満	55～60歳未満	60～65歳未満	65歳以上
名	名	名	名	名	名
					合 計
					名

○老人福祉サービスの場合

60歳未満	60～65歳未満	65～70歳未満	70～75歳未満	75～80歳未満	80～85歳未満
名	名	名	名	名	名
85～90歳未満	90～95歳未満	95歳以上	合 計		
名	名	名	名		

○保育所の場合（通常保育）

	定 員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	6	6	1		2
1歳児	12	13	1		4(発達支援児1名につき1名加配)
2歳児	15	16	1		3
3歳児	22	23	2	11.5	1.5(発達支援児2名につき1名加配)
4歳児	22	23	1		2(発達支援児2名につき1名加配)
5歳児	23	23	1		2(発達支援児2名につき1名加配)
計	100	104	7	—	—

(注) 1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

○障害等の状況（保育所を除く）

・身体障害（障害者手帳を所持している利用者についてご記入ください。）

障害区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級
視覚障害	名	名	名	名	名	名	名
聴覚又は平衡機能の障害	名	名	名	名	名	名	名
音声・言語、そしゃく機能の障害	名	名	名	名	名	名	名
肢体不自由	名	名	名	名	名	名	名
内部障害（心臓・腎臓、ぼうこう他）	名	名	名	名	名	名	名
重複障害（別掲）	名	名	名	名	名	名	名
合計	名	名	名	名	名	名	名

※区分が異なる複数障害で等級の認定がなされている場合は「重複障害」に記入ください。

・知的障害（療育手帳を所持している利用者についてご記入ください。）

A ※	B	C
名	名	名

※「A」には丸付きのAを含む。

・精神障害（精神障害者保健福祉手帳を所持している利用者についてご記入ください。）

精神疾患の区分	1級	2級	3級
統合失調症	名	名	名
そううつ病	名	名	名
非定型精神病	名	名	名
てんかん	名	名	名
中毒精神病	名	名	名
器質精神病	名	名	名
その他の精神疾患	名	名	名
合計	名	名	名

○要介護区分の状況（介護保険対象サービス事業所のみご記入ください。）

自立・要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
名	名	名	名	名	名

○サービス利用期間の状況（保育所を除く）

～6か月未満	6か月～1年	1年～2年	2年～3年	3年～4年	4年～5年
名	名	名	名	名	名
5年～6年	6年～7年	7年～8年	8年～9年	9年～10年	10年～11年
名	名	名	名	名	名
11年～12年	12年～13年	13年～14年	14年～15年	15年～16年	16年～17年
名	名	名	名	名	名
17年～18年	18年～19年	19年～20年	20年以上		
名	名	名	名		

(平均利用期間：)

【職員の状況に関する事項】

○成人施設の場合

	総数	施設長	事務員	主任指導員	指導員
常勤	名	名	名	名	名
非常勤	名	名	名	名	名
	主任介護職員	介護職員	保育士	看護師	OT、PT
常勤	名	名	名	名	名
非常勤	名	名	名	名	名
	栄養士	介助員	調理員等	医師	その他
常勤	名	名	名	名	名
非常勤	名	名	名	名	名

社会福祉士	名 (名)
介護福祉士	名 (名)
保育士	名 (名)
	名 (名)
	名 (名)

(非常勤職員の有資格者数は () に記入)

○保育所の場合

常勤職員数		24 人	
うち	保育士	20 人	保健師・看護師 1 人
	栄養士・調理員	2 人	その他(庶務) 1 人
非常勤職員数		4 人 (常勤換算 1.5 人)	
うち	保育士	3 人	(常勤換算 人)
	保健師・看護師	人	(常勤換算 人)
	栄養士・調理員	1 人	(常勤換算 人)
	その他()	人	(常勤換算 人)
<p>(注) 常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。</p>			
(2) 前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 1 人	非常勤： 0 人
	退職	常勤： 1 人	非常勤： 0 人
(3) 常勤職員(うち保育士・保健師・看護師)の平均年齢		41.5 歳 (39.8 歳)	
(4) 常勤職員(うち保育士・保健師・看護師)の平均在職年数		10 年 (11 年)	
<p>(注) 現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体(法人・自治体)内の児童福祉施設間の異動は通算可(公営の場合には保育主管課在職期間も通算可)。小数点以下第二位を四捨五入。</p>			

【本来事業に併設して行っている事業】

(保育所を除く)

(例) 救護施設における通所事業(定員5名)

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育	有	—
延長保育	有	朝夕 30分250円
休日保育		
障害児保育	有	—
一時保育		
地域子育て支援センター		
乳幼児健康支援一時預かり事業(病後児保育)		
アレルギー等対応給食	有	—
その他(事業名:)		

(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・平成 30 年度におけるボランティアの受け入れ数(延べ人数)

7 人

・ボランティアの業務

- ・絵本の読み聞かせ(あいのみ文庫)
- ・リサイクルプラザ講習会
- ・サンタクロース

【実習生の受け入れ】

・平成 30 年度における実習生の受け入れ数(実数)

社会福祉士 0 人

介護福祉士 0 人

その他 8 人

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○成人施設の場合

(1) 建物面積	m ²	
	入所(通所)者1人あたり	m ² (延べ床面積÷定員)
(2) 居室数 (入所施設の場合)	個室	室
	2人部屋	室
	3人部屋	室
	4人部屋	室
	5人以上の部屋	室
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	平成	年
(5) 主な設備		

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	517 m ²	
	児童1人あたり	4.987 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	490 m ²	
	児童1人あたり	4.711 m ² (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input type="checkbox"/> 1. はい <input checked="" type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input type="checkbox"/> 1. はい <input checked="" type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	昭和	52年

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設（事業所）において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ・各行事後のアンケート調査…幼児組親子遠足・乳児組保育参観・試食会・運動会・おたのしみ会・保育士体験等でアンケートを取り、意見を聴取しています。
- ・懇談会…保育参観の際に懇談会を行っています。
- ・個別面談…クラス担任が新乳児に対して、また、必要に応じて家庭訪問をしています。
- ・苦情受付窓口設置…各教室やお便りに苦情受付窓口についての記載があり、意見を受け付ける体制が整えられています。
- ・送迎時の保護者とのコミュニケーション…送迎時、1日の様子をお伝えするようにしています。

【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

- ・保育所見学会…保護者の希望する日に合わせて所長、主幹が対応しています。
- ・保育士体験…保護者が、保育に関する理解を深めるために実施しています。幼児組の保護者は全員、乳児組の保護者は乳児組にいる間に1回体験するように案内しています。
- ・子育て支援事業…月1回のあそぼう会(年9回)・園庭開放(年9回)実施しています。
- ・保育所cityメールの活用…園からのお知らせや災害、感染症発生時に一斉に情報を流す仕組みが整えられています。
- ・絵本貸し出し…廊下に絵本の棚を設け、親子で選んで借りることが出来ます。
- ・夏野菜の栽培…ピーマンやサツマイモ等を栽培し、3～5歳児は収穫を行いました。
- ・縦割り保育の実施…年に数回異年齢の交流を行っています。

【第三者評価の受審状況】

- ・受審回数（前回の受審時期）

_____ 0 _____ 回 （平成 _____ 年度）